

学校統廃合(このままでもいいの?) 『暇のまちづくりを考える会』が学習会

『暇のまちづくりを考える会』(以下、考える会)と『教育カフェ』の主催で、「子育てしやすい街へ、地域に学校を残して!」と題した学習会が12月23日、教文センターで開催されました。

『考える会』代表が司会進行をし、『教育カフェ』代表の主催者あいさつで始まった学習会。『教育カフェ』の山本氏は、育鵬社の教科書採択が大阪で増えていることに触れながら、「四條畷の教育や橋下維新の教育改革はどうもおかしい」と話し、子どもが大切にされる教育に変える必要性を訴えました。

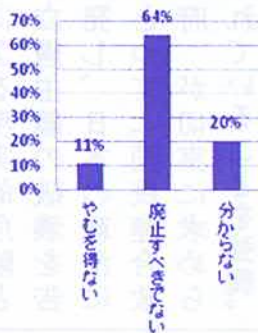
市の進め方に 保護者強い憤り

次に、『考える会』が10月に住民監査請求(職員措置に関する請求)を提出し、違法ないし不当と考えられる予算執行に対して執行者に損害賠償を求めるよう市に請求。監査委員に意見陳述を行った報告がありました。保護者の意見陳述では、署名行動を行った経過や小規模校の良さがわかりやすく報告され、それに対し市があまりにも拙速に、市民の声を聞かずにこの計画を進めていることへの強い憤りを訴えていると、保護者が胸を詰まらせる場面も…。学校の果たす役割の尊さが参加者に伝わる報告でした。

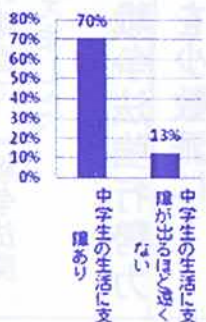
住民は統廃合に 納得していない!

大阪自治体問題研究所の横溝氏が、『考える会』とともに取り組んだ学校統廃合にかかるアンケート結果を報告。南小、東小、畷小、南中校区の住民は、学校統廃合に納得していない実態をアンケート結果に基づき説明しました。

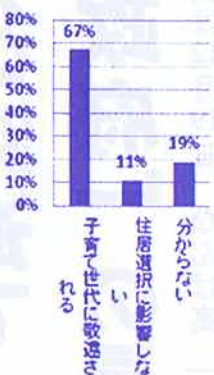
南中廃止について
3校区住民の意見



南中廃止・畷中への
通学の中学生への影響



住居選択への影響



(配布された資料より)

パネルディスカッションでは、3名のパネリストが報告しました。



小さな学校って素敵

市内小学校で元教員をされていた河内氏は、「小さな学校って素敵だな」と題し、少人数だからこそ、きめ細かい教育や個を生かす教育ができることを、日常の学校生活や行事も例にあげながら話されました。

学校規模が小さい方が学力にも良い影響

次に、横溝氏から「望ましい教育環境」と題する報告があり、OECD31カ国と比べると、日本は1クラスあたりの人数が多過ぎるとい

市の計画と校舎リフォームと比較検討を

最後に、1級建築士の松本氏から「建て替えなくてもできる校舎のリフォーム」と題し、鉄筋コンクリート造の耐用年数は技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能であること、長寿命化改修がうまくいけば、解体費も含め4割程度の費用削減ができることなどを説明。夏に見学した南中は長寿命化に問題ないとし、「市の統廃合計画は、長寿命化との比較検討をしていないことが問題」と指摘し、四條畷市は長寿命化を検討すべきと提唱されました。

会場からは参加した岸田議員も含め数人が意見を述べ、最後に『考える会』から訴えがあり、学習会は終了。参加者からは「大変勉強になった」との感想も寄せられていました。



日本共産党の躍進で

「国民連合政府」の扉あけよう

日本共産党の志位和夫委員長は12月19日、なんば高島屋前で4000人の聴衆が集まる中演説し、半年後に迫った参院選での「日本共産党の躍進で、『戦争法廃止の国民連合政府』実現を」と訴えました。



戦争法強行勢力を少数派に！

志位氏は、戦争法による現実的危険と立憲主義の破壊を告発し、日本の政治にとって「国民連合政府」が切実に求められていることを強調。「参議院選挙は『国民連合政府』の実現にとって重要なたたかい」とし、「憲法違反の戦争法を強行した自民、公明両党に退場の審判をくだし、参議院で自公とその補完勢力を少数派に転落させましょう」と訴えた。

「おおさか維新」は憲法改悪の先兵

「補完勢力とは『おおさか維新』のこと」と指摘した志位氏。橋下徹前代表が「来年夏の参院選で、自民、公明と『おおさか維新』で3分の2以上の議席をめざし、改憲の体制をつくる」と明言していることを紹介し、「安倍政権の補完勢力であり、憲法改正の先兵。これが『おおさか維新』の正体です。参院選では自民、公明と『おおさか維新』に『ノー』の審判を！」と訴えました。

政治を変えたい 願いを共産党へ

志位氏は、「あらゆる分野での安倍政権の暴走を止め、政治を変えたいとの願いを日本共産党に託してほしい」と呼びかけ、沖縄県名護市辺野古への新基地建設の強行、TPPの強行、原発の再稼働と輸出、消費税増税など、一つひとつの暴走を怒りを込めて告発。「日本共産党の躍進で暴走を止め、政治の転換を」との訴えに、聴衆は大きな拍手と声援で応えました。

演説の最中、若者グループがパレードで通りすぎながら、エールを送る場面も。わたなべ結党大阪青年学生委員会責任者は「安倍政権とおおさか維新の会の憲法改悪タッグを許すわけにいかない。命・暮らしを守る温かい政治を切り開くため全力を尽くす」と訴え、大門みきし参院議員も訴えました。

なんば街頭に4000人！

大門みきし参院議員（右）、わたなべ結党大阪青年学生委員会責任者（左）とともに訴える志位和夫委員長

戦争法廃止四條畷市民の会 12月も元気に行動！



岸田議員、神原氏もリレートークに参加

戦争法廃止四條畷市民の会は12月19日（土）、四條畷の商店街で2015年最後の宣伝活動をしました。参加した12人は、リレートークで思いを語ったり、「アベ政治を許さない」のティッシュや市民の会作成ビラを配ると、1時間でティッシュは500個、ビラは600枚以上配布することができました。反応の大きさに「びっくりポンや！」という声も。今年も毎月下記の宣伝を予定しています。「戦争法を許さない」というみなさん、ぜひ一緒に行動しましょう！

- 9日夕方5：30～ 四條畷駅・忍ヶ丘駅
- 19日午前10：30～ 四條畷商店街
- 29日午前10：30～ ダイエー前

市民相談（法律相談含む）

1月13日（水）夜7時～
市民総合センター3階 会議室2
相談をご希望の方は岸田議員か神原氏（連絡先は表面）までご連絡をお願いします

